Panasonic

施工説明書

住宅用照明器具（ひとセンサ付ポーチライト）

保管用

品番 HWC5812BEL（オフブラック）
HWC5812YEL（プラチナメタリック）

お客様へ　器具の施工には電気工事士の資格が必要です。必ず工事店、電器店に依頼してください。

工事店様へ　施工の前によくお読みのうえ、正しく施工してください。
この説明書は必ずお客様にお渡しください。

上手に使って上手に節電

安全上のご注意

必ずお守りください

人への危害、財産への損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠ 警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
⚠ 注意	「傷害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を、次の図表示で説明しています。

⃠	してはいけない内容です。
❗ ⏚	実行しなければならない内容です。

⚠ 警告

■器具の取り付けは施工説明書に従い確実に行う

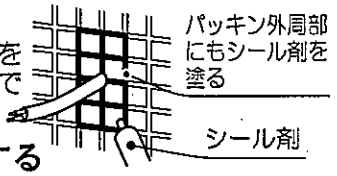
❗ 必ず守る

取り付けに不備があると、火災・感電・落下によるけがのおそれがあります

■取付面と本体パッキンのスキマおよびパッキン外周部にシール剤を塗る

❗ 必ず守る

本体パッキンと取付面とのすき間を防水シール剤などで埋めてください。



■交流100ボルトで使用する

❗ 必ず守る

過電圧を加えると過熱し、火災・感電のおそれがあります。

■電源線は端子台の差し込み穴の奥まで確実に差し込む

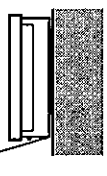
❗ 必ず守る

差し込みが不完全な場合、火災・感電のおそれがあります。

■検知部が下になるように取り付ける

❗ 必ず守る

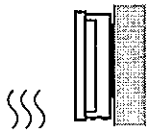
浸水による感電のおそれがあります。



■次のような場所に取り付けない

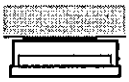
⃠ 禁止

指定場所以外に取り付けると、火災・感電・落下によるけがのおそれがあります。



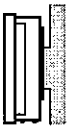
浴室などの湿気の多い場所

補強のない場所



天井面

据置取付



取付面が本体パッキンより小さい場所

●この器具は防雨型・壁面取付専用です。

■接地工事は、電気設備の技術基準に従って確実に行う

⏚ アース線接続

接地が不完全な場合、感電のおそれがあります。

⚠注意

■温度の高くなるものの近くに取り付けない

禁止

ガス機器やその排気筒の近くに取り付けないでください。
火災の原因となることがあります。

■使用地域の周波数以外で使用しない

禁止

間違って使用すると、火災の原因となることがあります。

■調光器と組み合わせて使用しない

禁止

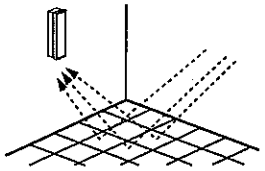
調光機能が付いた壁スイッチなどと組み合わせて使用すると火災の原因となることがあります。
●調光器の取り外しが必要です。

施工前にお読みください

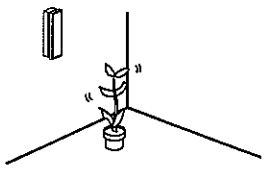
設置場所についてのご注意

●次のような場所には取り付けないでください。
この器具は、周囲の明るさと温度変化をセンサで検知して動作するため、以下のような場所に取り付けると誤動作の原因となります。

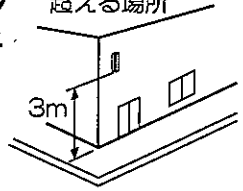
禁止 反射の強い床面のある場所



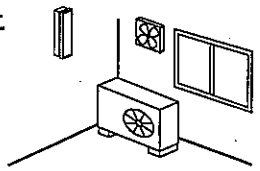
禁止 風などでよくゆれる植物の近くなど



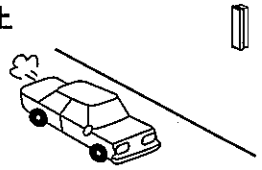
禁止 取付高さが3mを超える場所



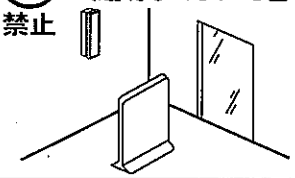
禁止 エアコンの吹き出し口、換気扇の近く



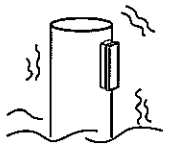
禁止 交通量の多い道路に面した場所



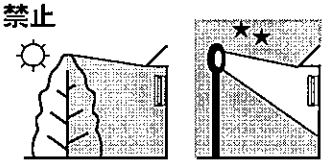
禁止 前面に障害物のある場所（透明なガラスも含む）



禁止 振動の激しいポールなど不安定な場所



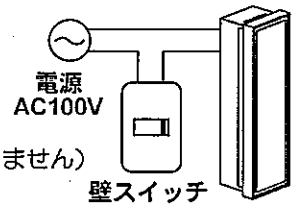
禁止 昼間でも暗い所や夜間でも明るい場所



●一般屋外仕様ですので、海岸隣接地帯では、塩害により短期間で錆が発生するおそれがあります。

配線についてのご注意

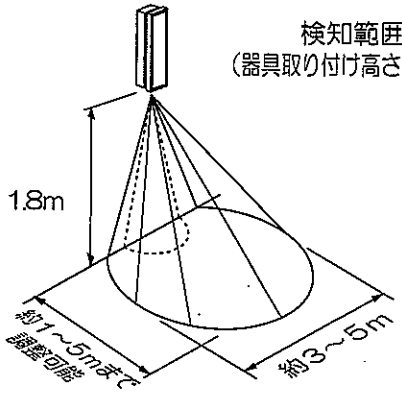
●必ず壁スイッチを設けてご使用ください。（スイッチは別途ご用意ください）
・連続点灯への切り替え操作ができません。
・センサによる点灯モードに異常が発生したとき、リセットできません。
●壁スイッチにパイロットスイッチを使用すると、壁スイッチがONの状態でも照明器具が消灯状態（センサ待機状態）のときは、パイロットスイッチ表示が点灯しない場合があります。（故障ではありません）
●通常は壁スイッチをONにした状態でご使用ください。



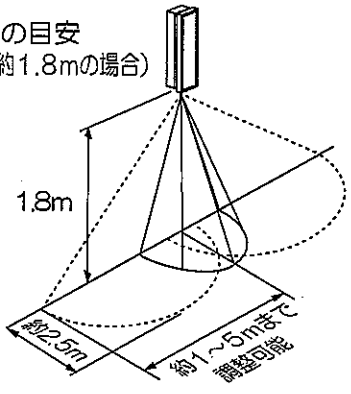
センサの検知範囲

●センサの検知部を動かして、検知範囲を調整できます。（センサの検知部は全方向に約２０度動きます）
●器具の取り付け高さ１.８m（標準）～３mの間では、検知範囲は変わりません。

検知範囲の目安
（器具取り付け高さ約1.8mの場合）



前後に動かした場合



左右に動かした場合

ご注意

●この器具のセンサは、熱源の温度変化を動きとしてとらえます。そのため、動物、自動車など人以外の動きも検知して照明が点灯する場合があります。
また、静止状態の人などは検知しない場合があります。
●検知範囲は気温、服装、移動速度、進入方向、体温、器具の取り付け高さや傾きなどにより変化します。
●夏場など、気温が体温に近い状態になると、温度変化が小さいため検知しない場合があります。
●センサの性能上、器具に向かってまっすぐ近づいた場合、器具の近くまで近づかないと検知しないことがありますが、器具の故障ではありません。

調整ツマミの設定について

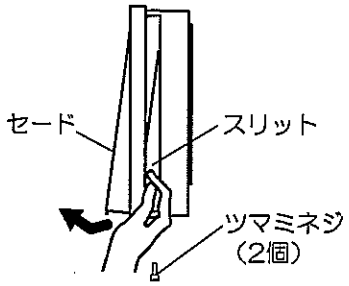
この器具は取り付け後、ご使用の環境に合わせてセンサの検知範囲、調整ツマミの設定が必要です。
必ず、「検知範囲と調整ツマミを設定する」をお読みのうえ、設定してください。

各部のなまえと取り付けかた

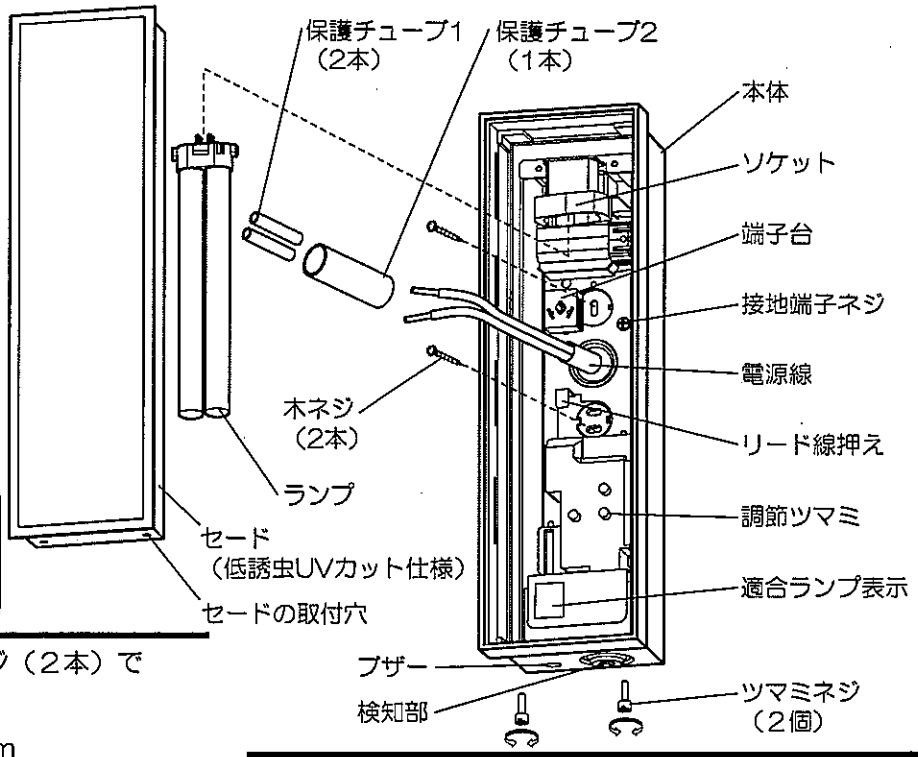
⚠注意 器具取り付けの際は、安全のため電源を切ってください。
通電状態で行うと感電の原因となることがあります。

取り付けの前に

●ツマミネジ（2個）をゆるめ、
本体側面のスリットから指で
セードをスライドさせ取り外す。



付属部品
木ネジ（2本）
保護チューブ1（2本）
保護チューブ2（1本）
リモコン

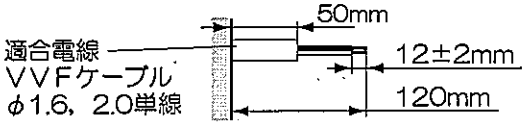


1 検知部を下にして、付属の木ネジ（2本）で 本体を取り付ける

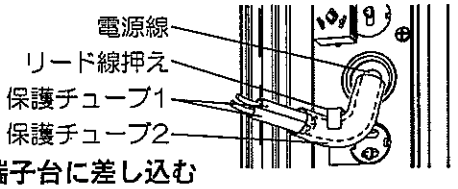
取付ピッチ　66.7mm　83.5mm

2 端子台に 電源線を接続する

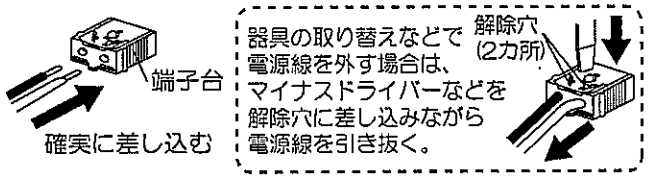
①電源線を下図のように加工する



②電源線に保護チューブ1（2本）と保護チューブ2（1本）を被せ、リード線押さえで電源線を押さえる

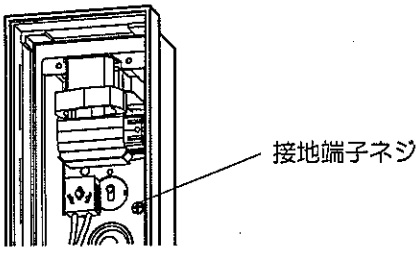


④電源線を端子台に差し込む

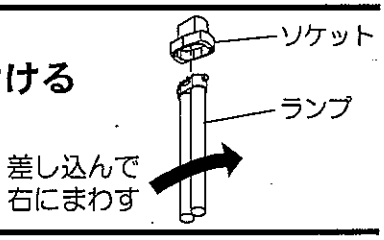


ポリエチレン系絶縁体を使用したEM（エコマテリアル）ケーブルをご使用の場合は、表面の劣化を考慮し、端末部付近の絶縁体露出部を　黒テープなどで保護してください。

⑤接地端子ネジからD種（第3種）接地工事を行う



3 ソケットに ランプを取り付ける

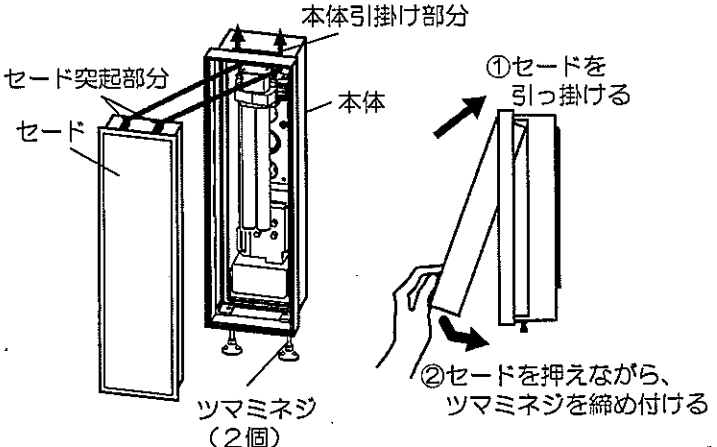


4 検知範囲と調整ツマミを設定する（次ページ参照）

●セードを取り付ける前に必ず行ってください。

5 セードを本体に引っ掛け、ツマミネジ（2個）を締め付けて セードを取り付ける

①セード突起部を本体引掛け部分に引っ掛ける。
②セードの取付穴をツマミネジにあわせ、押えながら
ツマミネジ（2個）を確実に締め付ける。
●取付後、セードにガタツキが無いことを確認ください。

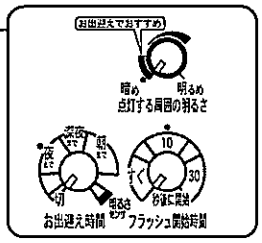


検知範囲と調整ツマミを設定する　昼間でも設定できます。

設定の前に
①壁スイッチをＯＦＦにする
②セードを取り外す

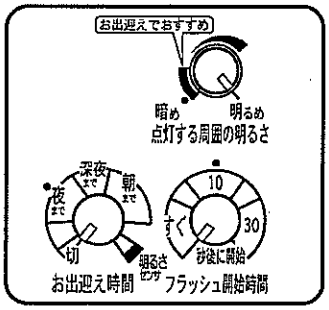
1 センサの検知範囲を調整し、点灯確認をする

出荷時の設定



[手順]

①あらかじめ、調整ツマミを以下の設定にする



点灯する周囲の明るさ――「明るめ」（右いっぱいに回す）
お出迎え時間　　――「切」（左いっぱいに回す）
フラッシュ開始時間　――「すぐ」（左いっぱいに回す）

②検知部を動かし、設置場所に合わせて検知範囲を調整する
- ●検知部は、全方向に約２０度動きます。
- ●センサの検知範囲は、☞ ２ページ「センサの検知範囲」を参照ください。

③壁スイッチをＯＮにし、センサの検知範囲の外に出る

➡ 約４０秒間点灯してから消灯します。

消灯しない場合は、以下の原因が考えられます。
- ●お出迎え時間が「切」になっていない　⇒　お出迎え時間を「切」にする
- ●センサの検知範囲に入っている　⇒　センサの検知範囲から外に出る
- ●連続点灯になっている　⇒　付属のリモコンの通常モードのボタンを押す

④消灯したら器具に近づいて、フラッシュ光とアラーム音が動作することを確認する
- ●センサの検知範囲の外に出てから約５秒後に消灯します。

2 いったん壁スイッチをＯＦＦにして 使いかたに合わせて調整ツマミを設定する

- ●点灯する周囲の明るさ　――　「暗め」がおすすめです。
- ●お出迎え時間　――　「夜まで」（約２２：００）がおすすめです。
- ●フラッシュ開始時間　――　「１０秒後」あるいは「３０秒後」がおすすめです。

(注)動作の詳しい説明は、取扱説明書　☞４ページ「使い方」を参照ください。

3 セードを取り付ける

☞ ３ページ「各部のなまえと取り付けかた」5 参照

4 壁スイッチをＯＮにする

➡ スイッチをONにした直後は周囲の明るさに関係なく、約４０秒間点灯します。

ご注意●お出迎え点灯を設定した場合(お出迎え時間調整ツマミを「切」以外に設定した場合)
壁スイッチをONにした初日は、手順２で設定した「お出迎え時間」ツマミの位置に関係なく
お出迎え点灯は約４時間で終了します。翌日より設定した時刻通り終了します。

パナソニック電工株式会社　インテリア照明事業部
〒571-8686　大阪府門真市門真1048
© Panasonic Electric Works Co.,Ltd. 2009-2010
HWC5812B-S3A2　N0409-020810